

第280号 2011年4月15日
弘前大学総務部総務課

学内掲示板

男女共同参画推進室からのお知らせ

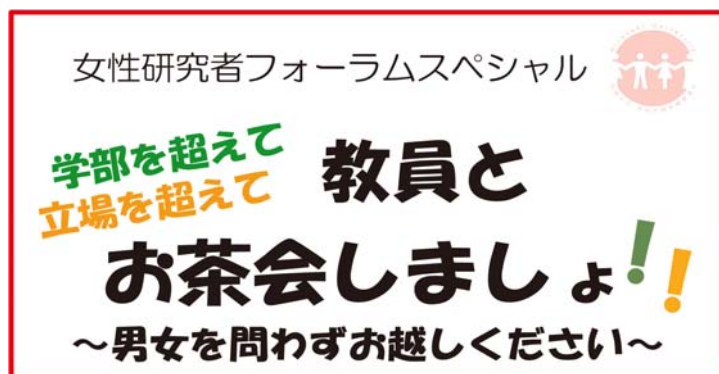
第4回女性研究者フォーラムのお知らせ

女性研究者フォーラムスペシャル！！
学部を超えて 立場を超えて 教員とお茶会しましょ！！
～男女を問わずお越しく下さい～

平成23年度の初回となる第4回女性研究者フォーラムでは、保健管理センター准教授の田名場美雪先生をお招きし、5月のモヤモヤや震災による不安を皆で一緒に乗り切ることを目指します。春の不調や震災の不安などのテーマは、男女を問わず関心が高いことから、今回は男子学生・男性教員の参加を歓迎いたします。立場を超えてふるってご参加ください。

1. 日 時：2011年 5月11日（水） 15:00～16:00
2. 場 所：弘前大学学生会館2F スコーラム
3. 参加費：無 料（コーヒー付）
4. 話題提供者：弘前大学保健管理センター准教授
（カウンセラー・臨床心理士） 田名場 美雪
5. 話 題：五月病のモヤモヤ、ふきとばそう
6. 主 催：弘前大学男女共同参画推進室
7. 共 催：教育・学生委員会（このフォーラムは、FDワークショップとして開催されます）

問い合わせ先： 弘前大学男女共同参画推進室 鶴井 香織
電 話：0172-39-3885
E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp
H P：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/event/>



弘前大学出版会から新刊のご案内

杉山祐子・山口恵子編「ものづくりに生きる人々―旧城下町・弘前の職人」（A5判、115頁、定価700円：税込）を弘大ブックレットNo.7として出版しました。

「スゴイのは、津軽塗だけじゃない！」

旧城下町としての長い歴史を持つ青森県弘前市には、さまざまな職人のものづくりが息づいている。本書は、「日常生活」

「工業」「ねぶた」「食品」「伝統工芸」の五つをテーマとして、ものづくりに生きる職人の仕事を大学生が観察し、話を聞き、調査した結果を全八章の構成にして編んだものである。

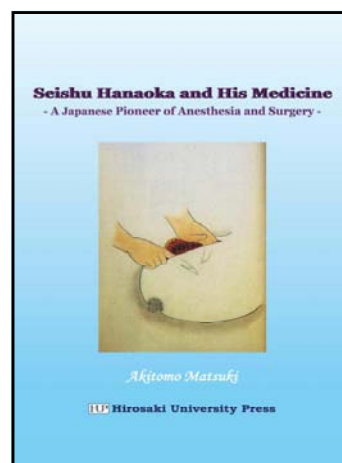
本書では、さまざまな形のものづくりが、弘前という都市のなりたちや特性と密接にかかわりながら展開されてきたことが明らかになっている。そして、確かな技術を磨きつつ、時代の変化に対応した仕事のやり方を模索し、現代的なありようへと変化させながら、弘前という都市の産業を支えてきた職人たちの、豊饒な姿を浮かび上がらせている。職人たちの仕事に触れた大学生の驚きや感動を味わっていただければ幸いである。



松木明知 著「Seishu Hanaoka and His Medicine—A Japanese Pioneer of Anesthesia and Surgery」（B5判変形、200頁、定価3,465円：税込）を出版しました。

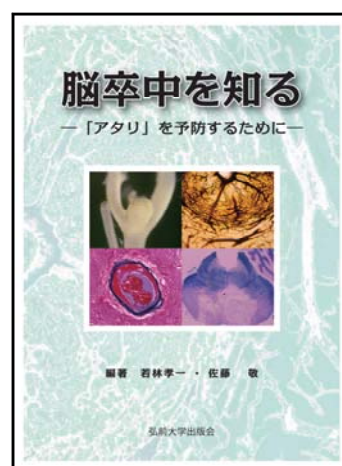
本書は世界で最初に全身麻酔下に乳癌の手術を行った紀州の華岡青洲（1760 - 1835）の生涯とその業績を詳述している。著者は患者藍屋かんの死亡年月日を特定して最初の手術年を1805年（文化2）とする従来の定説を覆して一年前の1804年（文化元）と訂正し、さらに華岡家の菩提寺の過去帳を発掘して青洲の系譜を改めた。これまで知られなかった全身麻酔薬「麻沸散」開発の背景についても新史料を見出し、加えて犬、ウサギ、ラットなどを用いた動物実験、さらには人体実験を行ってその経緯を明らかにした。青洲は「麻沸散」の処方秘伝としたとされるが、門人以外にもそれを伝授していることも明らかにした。これまで無視されてきた青洲の漢詩を読み解き彼の生涯の空白を埋めている。

青洲の名は欧文論文によって欧米にも知られていたが、それらの論文はすべて断片的で誤った情報に準拠している。本書は最新の知見に基づく青洲の姿を欧米の研究者に提供する。



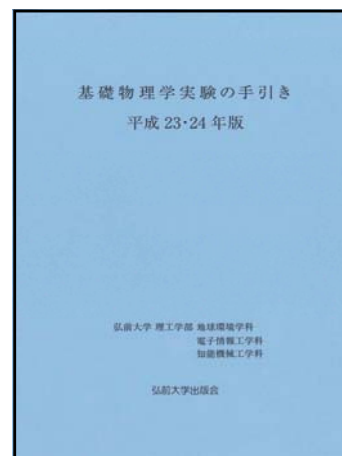
若林孝一・佐藤敬 編著「脳卒中を知る―「アタリ」を予防するために―」（A5判、107頁、定価735円：税込）を出版しました。

本書は脳卒中に関するエッセンスをまとめた一般向けの書である。脳卒中は日本人の死因の第3位を占め、緊急性の高い病気であると同時に、寝たきりの最大の原因となっている。その理由としては、いったん壊れてしまった脳は手術によっても薬によっても元に戻すことが困難ということがある。本書の目的は、脳のしくみを正しく理解し、脳卒中を予防するためには何が必要かを知ってもらうことにある。「脳を知る」ことは「脳を守る」ことにつながる。



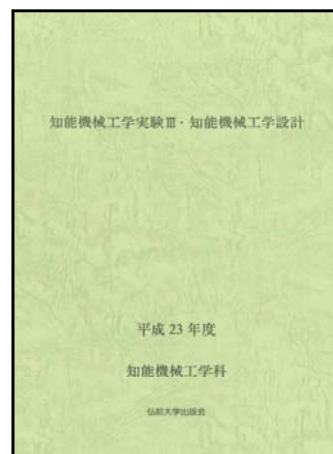
理工学部地球環境学科・電子情報工学科・知能機械工学科 編「基礎物理学実験の手引き」改訂6版（A4版、100頁、定価945円：税込）を出版しました。

本書は、弘前大学理工学部地球環境学科・電子情報工学科・知能機械工学科の各学科で2010年10月から開講されている基礎物理学実験の実験指導書である。自然科学や科学技術が高度に発達した現代社会において、科学技術者に求められる知識と能力はますます多様化しているなかで、科学技術者を目指す学生に求められるのは確かな基礎学力の習得である。物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問であり、大学で理工学を学ぶ学生は物理学を十分理解しておくことが重要である。本書は、力学、熱学、電磁気学に関する物理学実験の基礎を、実習を通して学習するための資料を提供する。



理工学部知能機械工学科 編著「知能機械工学実験III・知能機械工学設計」（A4判、81頁、定価800円：税込）を出版しました。

本書は、2011年度に弘前大学理工学部知能機械工学科で3年生を対象に開講される「知能機械工学実験III」および「知能機械工学設計」の実験指導書である。機械工学を学ぶ学生が身につけておく項目のうち、(i) 設計製図、(ii) 材料システム評価、(iii) 温度及び熱流束の測定、(iv) モーションコントロール、(v) 薄膜微細加工を取りあげ、実験と実習を通して学習するための資料を提供する。

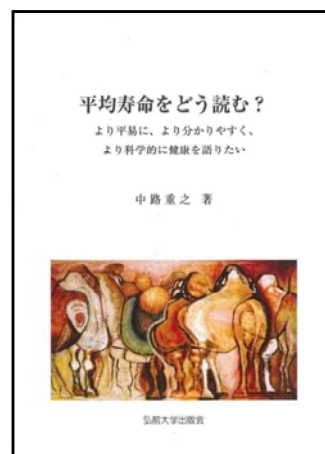


中路重之 著「平均寿命をどう読む？」（A5判、111頁、定価600円：税込）を出版しました。

今、ITの発達により情報時代が到来し、我々は日々はかり知れない恩恵を受けています。しかし、多くの健康情報を瞬時に入手できるようになった一方で、「健康難民」が増加しているのはなぜでしょう。物質に恵まれているのに、なぜか幸福感が希薄な現代社会に似ています。

本書は、そのような健康難民をなくするために書きました。一貫して、人の健康度の最終・包括的な指標である平均寿命の話が書かれています。それを分かりやすく解説し、そこから、正しい健康の知識と考え方、すなわち「健康教養」を身につけていただきたいというのが筆者の願いです。

できるだけ「平易に、分かりやすく、科学的根拠を重んじて」書かれた本書は、誰もが楽しんで簡単に理解できるように工夫されており、熟読してもたった3時間。それだけで、読者は確実に健康教養を身につけることができます。



弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電 話：0172-39-3168
F A X：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax:37-6594、内線：3012